



九州北部地方では、今後1ヶ月の平均気温は例年並、降水量は多い、日照時間は平年並または少ないと予想されています。

## 1. トビイロウンカ対策

- ・去年一昨年と警報がでたトビイロウンカに今年も注意してください。
- ・ヒノヒカリ等の中生品種では、特に注意が必要です。  
こまめに圃場の「株元」を確認しましょう。
- ・9月以降に1株あたり1頭以上確認された場合は、  
下記の薬剤を参考に速やかに防除してください
- ※防除する際は、薬剤がウンカの付いている株元まで届くよう散布しましょう。
- ・予測されるトビイロウンカの防除適期（7月9～11飛来）は  
8/31～9/15（第二世代幼虫）となっているので適期を逃さないようにしましょう。  
（大分県農林水産研究指導センター農業研究部 7/19発表）
- ・収穫間近のほ場はできるだけ早刈りしてください。



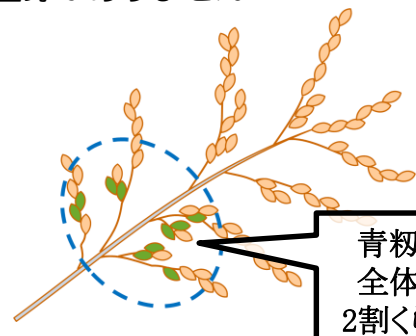
薬剤名	使用時期	10a当たり濃度・量	備考
スタークル顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2,000～3,000倍、60～150L	
スタークル豆つぶ		200～500g	
スタークル粒剤		3kg	
スタークル粉剤DL		3kg	
スタークル液剤10		1,000倍、60～150L	
トレボン乳剤	収穫14日前まで	1,000～2,000倍、60～150L	
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	2,000倍、60～150L	※

※エクシードフロアブルは飼料用米・WCSの出穂後の防除には登録がありません

## 2. 収穫までの水管理・適期収穫

### 1) 収穫までの水管理

- ・落水時期は、収穫の7～10日前が目安です。収穫に支障のない範囲で間断灌水を続けましょう。  
（落水後、乾燥する場合は**走水灌漑**をする。）
- ・早過ぎる落水は白未熟粒の増加を招き、粒張りも悪くなり収量や品質が低下します。



青籾が  
全体の  
2割くらい

参考 品種別の収穫適期目安

品種	青籾率	出穂後日数
ひとめぼれ	20%	40日
つや姫	15～20%	45日
ヒノヒカリ	20～25%	43日

竹田アメダスの平均気温より推定

### 2) 適期収穫、適正な乾燥調製

- ・水稻は品種毎に収穫適期が異なります。  
籾の黄化具合を確認し、適期収穫に努めましょう。
- ・乾燥後の籾水分は、14.5～15%を目標にしましょう。